

県知事 殿

野生動物ご担当者 殿

動物虐待防止会
代表

2006 年中に捕獲され「非捕殺」となった熊についてのお尋ね

呈上 私どもはくすべて命あるものに愛を>を基本に、動物の命一つ一つを大切に考えようと日々活動している小さなグループです。その一環として、有限会社小田原アカデミーの委嘱を受けて季刊ムック『動物ジャーナル』の編集に携わり、人々の心に働きかけようと努力しております。

先頃、2006 年中のクマ出沒に関する環境省の発表資料を基に、一つの報告をまとめ、『動物ジャーナル 56』に掲載しました。(その全文はコピーで同封します。)

この報告制作中、気になっていたのが「非捕殺」のクマの行方でした。何故なら、生きる機会を与えられたクマたちは、未来への希望につながるかもしれないと思ったからです。

何かの調査が行われているか、環境省に問合せましたが、何もなく、今後調査の予定もないとのことでした。それでこの度、各自治体にお尋ねしようという運びになり、お願いに出た次第、御用繁多をお察ししますが、どうか意のあるところをお汲みくださり、以下につきお答えいただけますたら幸いに存じます。

恐縮ながら、折返しファクシミリまたは郵送にて ご回答をお願いいたします。

以上

動物虐待防止会

郵便番号 156-0052

東京都世田谷区経堂 1-37-□□□□

電話 : 03-3425-□□□□

ファクシミリ : 03-3425-□□□□

ホームページ : <http://www.ne.jp/asahi/gpca/tokyo/>

このお尋ねは「非捕殺」数のあげられた21府県にお送りしています。
ご回答は集約して『動物ジャーナル58』及び当会ホームページに掲載する予定です。
非公開ご希望の項には、その旨お書き添えください。秘密は厳守します。